

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

12月号



つ ば さ

Yamaga Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420(代)
FAX 0968-44-0071(連携室直通)

第29回熊本県国保地域医療学会を開催しました

10月25日に別府透事業管理者が学会長を務める第29回熊本県国保地域医療学会をグランメッセ熊本コンベンションホールにて開催しました。

本会の目的は地域包括医療・ケアを充実するために、多職種の知見と工夫を報告・共有することです。今回は「地域で治し支える医療」の実現に向け



て”をテーマとし、県内多数の施設から35演題が寄せられました。

別府学会長の開会挨拶に引き続き、前回学会の優秀演題表彰式が行われ、当院の井上放射線技師が表彰されています。

山鹿市民医療センターからの演題としては、宮本看護師から「身体抑制センファレンスの成果」について、福島放射線科技師からは「造影検査におけるタスクシフト」について、渡邊理学療法士が「出前講座等を通じた地域貢献」について、伊藤師長は「病棟業務見直しとコスト削減の取り組み」、宮村薬剤師が「眼科入院時の薬剤管理体制」について報告しました。さらに、城北高等学校看護科から、当院看護部と連携した中学生に向けた「看護師職業講話」について発表があり、実技研修を受けた学生が城北高校入学したことが関心を集めました。各々の演題について参加者は熱心に聴講し、会場や座長からの質疑応答が行われました。

一般演題終了後、第64回全国国保地域医療学会で最優秀賞を受賞された、上天草市立上天草総合病院 脇田院長による記念講演が行われました。最後に、国立保健医療科学院 福島靖正名誉院長から

「これから超高齢社会にどう対応するか」をテーマに特別講演を賜りました。福島先生は大臣官房審議官、健康局長等を歴任され、指導的立場で医療行政に永らく関わられた方です。熊本出身で別府学会長とは旧知の間柄ということで今回の講演が実現しました。講演の中で膨大な将来予測データが解析され、提示された重大な医療課題について参加者から大きな反響がありました。

閉会式では次期学会長の高森球磨郡公立多良木病院企業団 企業長兼院長が挨拶され、次回学会への参加を呼びかけられました。引き続き副学会長の藤原熊本県市町村保健師協議会長が閉会の辞を述べられ、第29回学会を終了しております。

集計では224名の方が参加され、成功裏に幕を閉じることができました。ご助力頂いた関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

(文責：院長 石河 隆敏)



CONTENTS

第29回熊本県国保地域医療学会を開催しました …	P 1
歯科医師会主催の口腔ケア研修に参加して…	P 2
DMAT隊員養成研修を受けて …	P 2
医療最前線 (171) …	P 3
小児科年末年始の休日外来診療について …	P 3
外来担当医表 (12月) …	P 4

歯科医師会主催の口腔ケア研修に参加して



口腔ケアは患者さんの健康を守るために大切なケアです。私自身、患者さんに合わせながら適切なケアを行えているのか自信が持てないと感じることもあります。今回の研修では

くまもと県北病院の歯科衛生士 内場絹代先生を迎えて、口腔機能を保つことの重要性を学び、患者さんが心地よいと感じる口腔ケアを体験・実践することができました。

経口摂取ができなくなった患者さんの口腔内は乾燥しやすく、痰などの付着物で汚染しやすいことは日頃の業務でも感じていることです。今回は参加者同士でスポンジケアを実践することができました。口



腔内は感覚が敏感なため、ブラシを軽く当てるとなかなか不快に感じます。ある程度しっかりとブラシを当てることで不快感が軽減することを体験できました。



また痰の付着を一度できれいにしようとするのではなく、ケア頻度を多くして口腔内の潤滑を保ちながらケアすることはすぐに実践できると思いました。

義歯についても学び、義歯の装着が身体の均衡を保ち転倒リスクを少なくすること、装着時間が少なくなると義歯が合わなくなることを学び、リハビリを行なう患者さんが義歯を装着しているかの確認や日中の義歯の装着の確認を行いたいと思います。

今回の研修会を踏まえて口腔内を清潔に保てるようなケアをスタッフと協力し行なっていきたいと思います。

(文責：3階病棟 看護師 石貫みどり)

DMAT隊員養成研修を受けて

1995年に起きた「阪神・淡路大震災」で災害医療について多くの課題が浮き彫りとなり、医師が災害現場で医療を行う必要性が認識されるようになったことから厚生労働省により、2005年4月に災害派遣医療チーム、日本DMATが発足しました。

DMATは、災害派遣医療チーム Disaster Medical Assistance Team の頭文字をとったもの



ので、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場で、急性期（おおむね48時間以内）から活動できる機動性を持つ専門的な訓練を受けた医師(1名)、看護師(2名)、業務調整員(1名)で構成された医療チームです。

災害拠点病院として指定を受けている当センターではDMATを2チーム保有していますが、業務調整員の異動に伴い1人欠員となっていたため、私がDMAT隊員養成研修を受講してきました。

研修は9月24日～27日の4日間、兵庫県災害医療センターで実施されました。

2日間は、シミュレーションを含む座学を中心に、トランシーバーや広域災害救急医療情報システム(EMIS)の実習を行い、被災地での活動を円滑にするための方法を学び、3日目には、事前研修のe-Learningと2日間の実習で学んだ内容に関する試験がありました。

最終日には実践訓練として、被災地の救護所に派遣されたという想定での訓練を行いました。処理しきれないほどの膨大な情報量と不足する物資の中で、どうすればより多くの人を救うことができるのかを考える必要があります、現場での災害医療の難しさを知ることができました。

研修を終えてDMAT隊員となることができましたが、実際の現場に派遣された際に正しく動くためには、まだまだ学ぶべきことが多いと感じています。しかしながら、私たちがこの知識を実際に活かす場面が訪れないこと、すなわちDMATが出動しなければならないような大規模な災害が起こらないことを心から願っています。

(文責：医事課 浦本 雅仁)

医療最前線 (171)



骨粗鬆症について まずは検査を！

整形外科医長
山口 裕介

今回は8月号の樽美医師に続いて、骨粗鬆症についてお話をさせていただきます。

骨粗鬆症の患者数は約1600万人とも推定されていますが、他の疾患と比べると治療率は低いです。その理由としては、まず自覚症状がないこと、すべての自治体が骨粗鬆症検診を実施しているわけではないこと、さらにその検診の受診率自体低いことが挙げられます。その結果、骨折をして初めて骨粗鬆症治療が開始されることになります。骨折治療は私たち整形外科の仕事の大きな部分を占めますが、予防ができればそれに越したことはありません。骨粗鬆症によっておこる大腿骨近位部骨折や椎体骨折は、本人の生活の質や予後を悪化させるだけでなく、家族の負担増加や、医療費・介護費の増加により日本全体の負担増加につながるからです。

しかしながら自覚症状もないのに病院に行き検査を受けるというのはなかなか難しいものです（私も行きたくない派です）。特にあまり病気をせず薬も飲んでいないような場合は健康であると思いたい人が人間ですが、そのような方にも骨粗鬆症は隠れています。「これまで病気もしたことなかったのに」「カルシウムをしっかり摂っているから大丈夫と思っていた」というお話はよく聞きます。骨粗鬆症の危険因子を以下に挙げさせてもらいましたので、複

数当てはまるという方は骨粗鬆症かもしれませんと思い、まずは一度検査を受けてみることをお勧めします。

骨粗鬆症の危険因子	
加齢	性別(女性)
骨粗鬆症性骨折の家族歴	遅い初潮、早期閉経
糖尿病	過去の骨折
ステロイド投与歴	カルシウム不足
ビタミンD,K 不足	リンの過剰摂取
極端な食事制限(ダイエット)	運動不足
日照不足(日光浴不足)	喫煙
過度の飲酒	多量のコーヒー

注意していても不意の転倒などは避けられないものです。骨粗鬆症の検査を受け、適切な治療をすることで骨折のリスクは低下させることができます。もし転んでしまっても簡単には折れない丈夫な骨を維持し、健康寿命を伸ばしましょう。まずは、「自分は大丈夫だろう」という意識の壁を乗り越えて受診してみてください。面倒かもしれません、入院や手術になるときの手続きよりは絶対に楽ですよ！



小児科年末年始の休日外来診療について

【日時】

- 令和7年12月30日(火) 午前9時から午後4時
- 令和8年1月2日(金) 午前9時から午後4時

【診療内容】

小児(新生児～中学生)の内科的疾患を対象

【注意点】

- 事前にお電話でご連絡をしてからお越しください。



外来担当医表

12月

診療科名	月	火	水	木	金
呼吸器内科	※吉川嗣大	※赤池公孝	※後藤英介	—	※後藤英介
腫瘍内科	—	—	—	—	※宮本英明
消化器内科	中垣貴志	竹熊梨祐	本原利彦	中垣 竹熊 貴志 梨祐	本原利彦
内分泌・代謝内科	川崎修二	—	川崎修二	—	川崎修二
循環器内科	大庭圭介 清水博	大庭圭介 清水博	※中山智子 清水博	清水博 大庭圭介	大庭圭介 清水博
整形外科 (紹介外来制)	横田秀峰 樽美備一	工藤智志 樽美備一	手術 (担当医)	工藤智志 横田秀峰	手術 (担当医)
外 科	別府透 石河隆敏 織田枝里	手術 (担当医)	別府透(新患のみ) 石河隆敏/増田稔郎 辛島龍一/織田枝里	手術 (担当医)	別府透 増田稔郎 辛島龍一
乳腺外科(予約制)	—	※富口麻衣	—	—	—
泌尿器科	中村圭輔	手術(担当医)	今藤淳之助	※神波大己教授	中村圭輔
小児科	小澄将士	小澄将士	小澄将士 (午後:予防接種)	小澄将士(午前) ※石井真美(午後)	小澄将士
*小児科の午後は、16:00受付終了となります					
耳鼻咽喉科(予約制)	—	非常勤医師	—	非常勤医師	—
眼科(予約制)	手術	特殊再来のみ	古島京佳	古島京佳	古島京佳(午前) 非常勤医師(午後)
産婦人科	非常勤医師(午後) (受付14:00~16:00)	※片渕美和子(午後) (受付13:00~16:00) 婦人科・思春期・更年期	—	非常勤医師(午前) ★非常勤医師(午後) (受付14:00~16:00)	非常勤医師(午前)
緩和ケア内科(予約制)	織田枝里	堀和樹	織田枝里	堀和樹	—
総合診療科(予約制)	吉岡明子	—	吉岡明子	—	吉岡明子
救急外来	泌尿器科医(午前) 吉岡明子(午後)	吉岡明子	大庭圭介(午前) 清水博(午後)	奇数週:担当医 偶数週:吉岡明子	外科医(午前) 消化器内科医(午後)
健診	高木茂	高木茂	高木茂	高木茂	高木茂

◎診療受付時間は、8:30(予約再診の方は8:00)~11:00

* 非常勤医師です。 ★ 第2、第4のみ診療となります。

◎当日の受診に関する相談を除くお電話は、平日14時から17時までが受付となります。

特殊・専門外来 [予約制]

12月

名称	担当医等	実施日	診察場所
外来化學療法	担当医	毎週 火曜・水曜	各診療科
	※宮本英明	毎週 金曜(がん薬物療法専門医)	
睡眠時無呼吸外来	担当医	—	Aブロック
小児科予防接種	小澄将士	毎週 水曜(受付時間13:30~16:00)	
ストーマ外来	担当医	毎月 第3水曜(午後)	Bブロック
P E G 外来	担当医	毎月 第2水曜(午後)	
セカンドオピニオン外来	各専門医が担当します。 詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎急患の場合は、この限りではありません。

ご注意: 学会等の都合で変更になる場合があります。

◆睡眠時無呼吸外来については、現在は新規予約の受付を行っておりません。

◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

山鹿市民医療センター

〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420(代)
FAX 0968-44-0071(連携室直通)
<http://yamaga-medical-center.jp>